

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 126	113	ヘルパンギーナ	↘ 8	24
咽頭結膜熱	↘ 50	62	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 0	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 35	33	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 254	239	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 19	13
水痘	↗ 22	21	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 38	55	無菌性髄膜炎	↗ 2	1
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 0	1	マイコプラズマ肺炎	→ 2	2
突発性発しん	↗ 45	37	クラミジア肺炎	→ 0	0

**報告が多い感染症**

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- 咽頭結膜熱

- 感染性胃腸炎 報告数:254件(前週:239件)  
地区別:人吉、菊池、有明  
年齢別:1歳 51件(20.1%)
- RSウイルス感染症 報告数:126件(前週:113件)  
地区別:八代、人吉、菊池  
年齢別:1歳 54件(42.9%)
- 咽頭結膜熱 報告数:50件(前週:62件)  
地区別:山鹿、菊池、天草  
年齢別:1歳、3歳 各9件(各18.0%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		42	7	9	56	6	11		18					16		2	1	
山鹿保健所		1	11		16	4	5		1				*	*				
菊池保健所		22	16	15	48		15		8					1				
阿蘇保健所					2								*	*			1	
御船保健所					3								*	*				
八代保健所		28	1		28	1			6									
水俣保健所		6	1										*	*				
人吉保健所		14	1	2	43	1			2				*	*				
有明保健所		3	2	2	42	1	3		3					2				
宇城保健所		8	3	7	14	8	1		5				*	*				
天草保健所		2	8		2	1	3		2		8							
計	0	126	50	35	254	22	38	0	45	0	8	0	0	19	0	2	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	126	18	29	54	10	9	4	2														
咽頭結膜熱	50		4	9	4	9	7	2	3	4	2	2	3		1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35					5	5	4	3	5	3	1	7		2							
感染性胃腸炎	254	4	25	51	27	24	16	24	9	15	8	7	26	9	9							
水痘	22		2	6	6	5	2	1														
手足口病	38		2	17	10	3	3		1				2									
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	45	3	15	23	4																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	8			3	1		1	2	1													
流行性耳下腺炎	0																					
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	19	1	1	1	2		1						1		5	3	3	1				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	2			1		1																
マイコプラズマ肺炎	2		1	1																		
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ:天草
- 咽頭結膜熱 :山鹿、菊池
- 手足口病 :菊池

RSウイルス  
さらに増加



RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症です。今年は、7月下旬から増加傾向にあります。今週も報告が増加し、まだまだ注意が必要です。昨年も、ほぼ同じ時期にRSウイルス感染症が流行しており、9月下旬をピークとして、11月にかけて流行が続きました。今年は、昨年の同時期より報告がやや少ないですが、3歳以下からの報告がほとんど(約95%)ですので、乳幼児のいる家庭では特に注意しましょう。

【症状】

鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間程度で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

【感染経路】

ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染

【予防策】

- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない
- ・症状のある家族はマスクをする
- ・外出後の手洗いをきちんと行う



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課